

ク ラ ス

クラスとは

フィールド（変数）とメソッド（関数）を併せ持つデータ型

メソッド 一定の処理をまとめたブロック
引数と戻り値をもつ

引 数 メソッドを実行する時に、そのメソッドに渡す情報
仮引数と実引数がある
・仮引数とは、メソッド側で値を受け取る変数
・実引数とは、メソッドを呼び出す時に渡す値

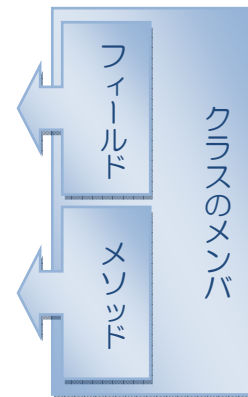
戻り値 メソッドの実行後に、そのメソッドから渡される情報
return 文を用いて行う

return 文 実行中のメソッドの処理を終了し、
戻り値がある場合はそれを返す

宣 言

```
class クラス名{
    型 フィールド名;
    :

    戻り値の型 メソッド名(引数リスト){
        本体;
        return 式;
    }
    :
}
```



※この他、メンバにはクラスやインタフェースの宣言を持たせることもできる

書 式

	引数あり	引数なし
引数リスト	該当の引数のリスト	「空欄」

	戻り値あり	戻り値なし
戻り値の型	該当の型	void
return 式;	return 式; ※式は、該当の型に一致	return; または「省略」

本体: メソッドの処理を記述する

自身のメンバへアクセスする (※A)

・フィールドへ → フィールド名

・メソッドへ → メソッド名(引数リスト)

また、次のようにもできる

・フィールドへ → this.フィールド名

・メソッドへ → this.メソッド名(引数リスト)

this.修飾子 自クラスのオブジェクトへの参照としての意味をもち
現在の自身のオブジェクトへの参照

クラスの利用

- メンバへアクセス
1. クラスのオブジェクトを生成する
 2. オブジェクトを指定してメンバへアクセスする (※B)
 - ・フィールドへ → オブジェクトを参照する変数.フィールド名
 - ・メソッドへ → オブジェクトを参照する変数.メソッド名(引数リスト)

